CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル：　**CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版**
■使用評価ソフト：　**CASBEE新潟v.4.0.2**

1. 建物概要

建物名称	（仮称）ケーズデンキ女池インター店　改築工事
建設地	新潟県新潟市中央区女池8丁目1823番　外72
用途地域	準住居地域、第一種住居地域、法22条地域
建物用途	物販店,
竣工年	2026年5月 竣工
敷地面積	24,664.47 ㎡
建築面積	8,370.09 ㎡
延床面積	8,370.09 ㎡
階数	地上1F
構造	S造
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2025.5.27



2. CASBEE新潟の評価結果



S: ★★★★★　A: ★★★★　B⁺: ★★★　B⁻: ★★　C: ★

B+

$$BEE = \frac{Q\ \text{建築物の環境品質}}{L\ \text{建築物の環境負荷低減性}} = \frac{42.6}{38.3} = 1.1$$

3. 新潟市の重点項目の評価

1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 3.2		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	3.0
			維持管理	Q2.1.3	3.5
			設備の更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 3.0		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.3		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	3.5
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.0		節水	LR2.1.1	4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 1.5		生物環境の保全と創出	Q3.1	1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちらしさへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 2.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

1.長寿命化の取組み
　設備配管はメンテナンス・修繕等を考慮し天井配管計画とした。
2..資源循環の取り組み
　衛生器具は節水型を採用。
3.新潟のまちらしさへの取組み
　駐輪施設・ｴﾝﾄﾗﾝｽ前のｵｰﾌﾟﾝｽﾍﾟｰｽ等を設け、地域性への配慮及び快適性の向上に努めました。

■**CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency**（建築環境総合性能評価システム）
■**Q: Quality**（建築物の環境品質）、**L: Load**（建築物の環境負荷）、**LR: Load Reduction**（建築物の環境負荷低減性）、**BEE: Built Environment Efficiency**（建築物の環境効率）

CASBEE新潟 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版　|使用評価ソフト：CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)ケーズデンキ女池インター店　改築工事	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市中央区女池8丁目1823番　外72	構造	S造
用途地域	準住居地域、第一種住居地域、法22条地域	平均居住人員	40　人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,650　時間/年(想定値)
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年5月　　竣工	評価の実施日	2025.5.27
敷地面積	24,664 ㎡	作成者	高桑　渉
建築面積	8,370 ㎡	確認日	2025.05.27
延床面積	8,370 ㎡	確認者	高桑　渉

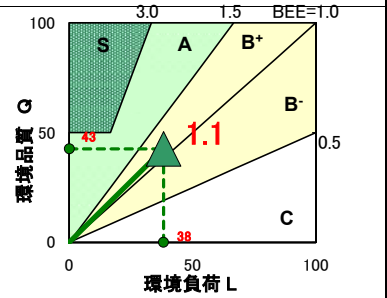
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

BEE =1.1

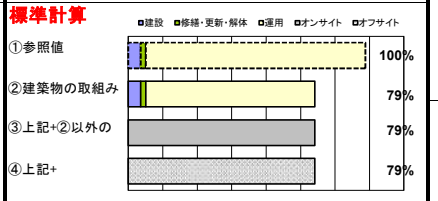
S: ★★★★★　A: ★★★★　B⁺: ★★★　B⁻: ★★　C: ★



2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

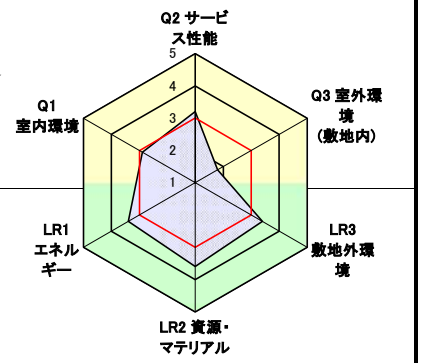
30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

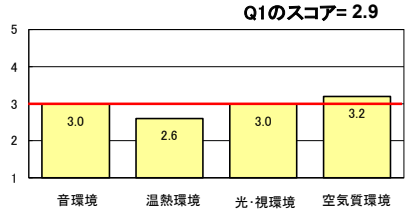
2-3 大項目の評価（レーダーチャート）



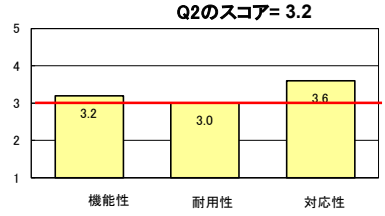
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.7

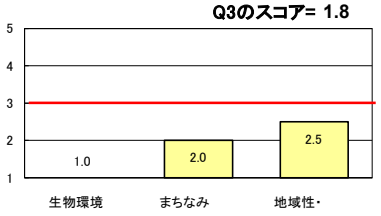
Q1 室内環境　Q1のスコア= 2.9



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.2

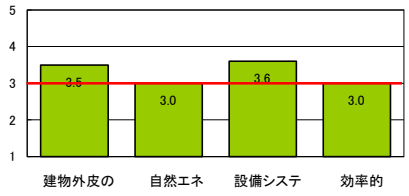


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 1.8

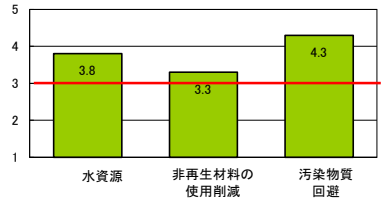


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.4

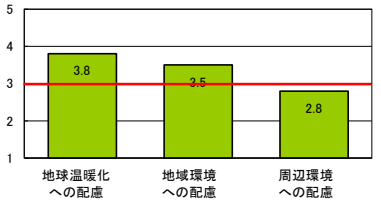
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.4



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.6



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.4



3 設計上の配慮事項

総合
清潔感のある店舗を目指し、耐久性・防汚性・清掃性への配慮を施した内装計画とした。
外壁部分の建具を必要最小限とし室内の熱損失を極力抑える計画とした。
節水型衛生器具等を採用し省エネルギーに配慮した計画とした。

その他
建設工事における廃棄物削減及びリサイクルを行う。

Q1 室内環境
バックヤード床は塩ビタイル貼りとし耐久性を確保している。
内装仕上材の選定はシックハウスに配慮した計画としている。

Q2 サービス性能
売場天井高さは3.9mとし、ゆとり有る空間計画とした。
事務エリアはリフレッシュスペースとして喫煙室を設けた。

Q3 室外環境（敷地内）
敷地内の温熱環境を考慮し、エントランス前は庇を設けた。

LR1 エネルギー
高効率照明器具（LED照明の採用）、高効率空調機の採用。
照明計画、空調計画によりエネルギーを削減した。

LR2 資源・マテリアル
仕上材はシックハウスに対応しF☆☆☆☆及び告示対象外の材料を用いて環境・健康に配慮した材料を採用した。

LR3 敷地外環境
営業時間外の駐車場の利用を控え、近隣への騒音、光害の低減に努める計画とする。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される